

一貫教育校の広場

幼稚舎

横浜初等部

普通部

中等部

湘南藤沢
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院
(高等部)

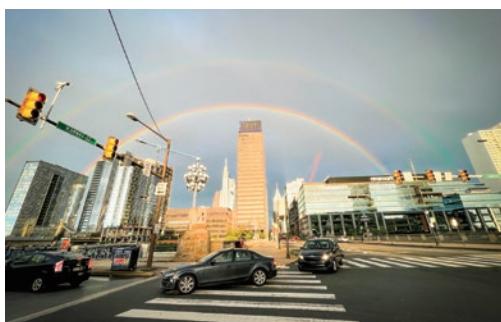
国際交流が育む塾高の人的ネットワーク

◎高等学校 教諭 北島伸哉

2023年8月から2025年3月まで国外長期研修制度を利用して米国フィラデルフィアに滞在した。映画『ロッキー』でシリ・ヴェスター・スタローンがフィラデルフィア美術館前の階段を駆け上がる姿は有名だ。独立宣言が署名された全米でも歴史が長く情緒あふれる街で、運命的な邂逅があった。

滞在先のアパートで偶然出会った日本人夫妻が塾員だった。ご主人がポスドクでペンシルバニア大学の研究機関で研究をされているという。塾高野球部の107年ぶり甲子園優勝の話を地球の裏側でするとは思わなかつた。また、米国に留学中の塾高卒業生2名が飛行機とアムトラックを使ってわざわざフィラデルフィアまで訪ねて來てくれた。別れ際、土砂降りの雨も上がり、我々の再会を祝すかのように友愛の街には大きな虹が架かつていた(図参照)。日本を離れて義塾から物理的に離れているのに、身寄りもない異国の地で義塾を心理的に近く感じるという何とも言葉に形容し難い不思議な経験をした。

一方、経済学部のダブルディグリー・プログラムに合格し、ボツコニー大学(イタリア)への留学が決まつたという卒業生からメールが届いた。他にも同時期にダブルディグリー・プログラムでエコール・サントラル・メディテラネ(フランス)、パリ政治学院(フランス)に留学している



友愛の街・フィラデルフィアに架かる大きな虹

る卒業生がいることも判明した。2025年10月に帰国したばかりの3名を招いて「塾高出身者が語るダブルディグリー・プログラム」を開催した。登壇者は全員高校1年次の英語習熟度が下位クラスだったというから驚きだ。「チーム塾高」は今も歩みを続けている。今年度から既存の短期留学と中期留学に加え、塾高独自の長期留学プログラムがスタートし、英国ウェールズにあるクライスト・カレッジ・ブレコンに高校2年次の9月から約10ヶ月留学することができる。さらに、わざわざ海外渡航しなくても留学体験を得られるティーチングアシスタンント(TA)プログラムは今年で5年目を迎えている。留学生や海外経験が豊富な大学生を一時的に雇用し、英語の授業でディスカッションのファシリテーターやディベートの審査員をしてもらっている。昼休みや放課後にもラウンジに待機してもらって授業外でも外国语に触れる環境を整備した。また、塾高の新たな試みとして海外からの留学生受け入れが始まつた。現在ドイツ・ミュンヘン出身の留学生1名が半年間一人の塾生として毎日他の塾生と肩を並べて勉強している。留学生は日本語や日本文化を、我々はドイツ語圏の言葉や文化を学び合い、自然と半学半教の精神が教室内に醸成されている。「チーム塾高」の取り組みによつて将来塾高内、そして義塾全体にどのようなシナジーが生まれるのか楽しみである。